Test-4-X

www.test-4-x.com/care

Canada • Ontario PSW

PSW

Study Guide

KNOWLEDGE POINTS	CHAPTERS	EDITION
195	30	2026-10-18

© 2026 Test4X. All rights reserved.
For personal study use. Not for resale or redistribution.

Questions or corrections: support@test-4-x.com

Disclaimer

This study guide is compiled from official government handbooks and other publicly available sources, for educational purposes only. It is intended to help you study and prepare; it does not constitute legal or professional advice.

Rules and regulations change. Always refer to the official handbook published by your licensing authority for the most current and authoritative information. The publisher assumes no liability for any decision made on the basis of this material.

This publication is independent. It is not affiliated with, endorsed by, or sponsored by any licensing or examining authority. All trademarks are the property of their respective owners.

Edition 2026-10-18 • 195 knowledge points • 30 chapters

Spotted an error, or have a question about this guide?
support@test-4-x.com

Contents

01	VLO 1: Work Within the Personal Support Worker Role	1
02	VLO 11: Support Family and Child Care	3
03	VLO 1: Work within the PSW role in various care settings	4
04	VLO 11: Family and Child Care Support (Elements D-E)	6
05	VLO 12: Identify, Respond to and Report Abuse and Neglect	7
06	VLO 2: Practice Professionally and Be Accountable	10
07	VLO 2: Practice professionally and be accountable for one's own actions	12
08	VLO 13: Palliative and End-of-Life Care	14
09	VLO 3: Practice as an Engaged Interprofessional Team Member	19
10	VLO 3: Practice as an engaged member of the interprofessional team	21
11	VLO 4: Provide Person-Centred Care Based on Ethical Principles	23
12	VLO 14: Mental Health, Cognitive Impairment and Responsive Behaviours	25
13	VLO 4: Provide person-centred care based on ethical principles	31
14	VLO 5: Establish and Maintain Therapeutic Relationships	33
15	Essential Employability Skills	35
16	VLO 5: Establish and maintain therapeutic relationships	37
17	Glossary	39
18	VLO 6: Identify, Report and Document Client Information	40
19	VLO 6: Identify relevant client information and document findings	42
20	VLO 7: Create and Maintain a Safe and Comfortable Environment	44
21	VLO 7: Create and maintain a safe environment	46
22	General Education Requirement	48
23	VLO 8: Assist Clients Across the Lifespan with Activities of Daily Living	49
24	VLO 8: Assist clients across the lifespan with activities of daily living	52
25	VLO 9: Assist the Client with Medication	55
26	VLO 9: Assist the client with medication	56

Contents (cont.)

27 VLO 10: Assist with Household Management and Instrumental ADLs 58

28 VLO 10: Assist with household management and instrumental ADLs 60

29 VLO 11: Assist and Support Clients Who Are Caregivers 62

30 VLO 11: Assist and support clients who are caregivers 63

CHAPTER 1

VLO 1: Work Within the Personal Support Worker Role

1.1 人を中心とした人本位のケア提供におけるPSWの役割

人を中心とした人本位のケア提供における職場環境での個人支援労働者の役割を特定します。

- ✓ 人を中心とした人本位のケアに関連する概念とスキルを特定し、議論します
- ✓ 個人支援労働者の役割に関連する反省と品質改善の概念を議論します

1.2 規制対象の介護提供者対規制対象の専門職の役割

規制対象の介護提供者と規制対象の医療専門職の間の役割と責任を比較します。

- ✓ 1991年規制保健専門職法(Regulated Health Professions Act, 1991)および2007年長期介護施設法(Long-Term Care Homes Act, 2007)に定められた、規制対象/非規制対象の医療提供者の役割と責任を特定して議論する
- ✓ 個人支援労働者(personal support worker)としての自分の役割を説明し、他の規制対象/非規制対象の医療提供者の業務と責任がどのように相互作用するかを議論する

1.3 法律に基づいてPSWスキルを安全に実施する

適用される法律、雇用者の職務記述書および方針に従って、PSWスキルを熟練して安全に実施します。

- ✓ 職業保健安全法（Occupational Health and Safety Act, R.S.O. 1990）、養護老人ホーム法（Retirement Homes Act, 2010）、精神保健法（Mental Health Act, R.S.O 1990）、長期ケアホーム法（Long-Term Care Homes Act, 2007）、規制保健専門職法（Regulated Health Professions Act, 1991）およびホームケアおよびコミュニティサービス法（Home Care and Community Services Act, 1994）を含む、ケア設定に関連する法律を特定し、遵守します

1.4 職務範囲外の業務を遂行するリスク

雇用主の職務記述書、ポリシー、ガイドラインおよび法律に従わない業務を遂行する場合の潜在的なリスクと結果を特定します。

- ✓ 個人支援労働者（PSW）として遂行する業務に関連する情報、ポリシーおよびガイダンスを特定し従います
- ✓ 指定された状況における管理された行為の遂行を含め、クライアントへの潜在的なリスクを特定し検討した上で、すべての業務を遂行します

1.5 異なるケア環境に対応するスキルセットの適応

施設ベースおよび地域社会ベースのケア環境における多様な役割期待に対応するようにPSWスキルセットを適応させる。

- ✓ 個人支援労働者が働く様々なケア環境で必要とされるスキルとケアレベルを特定し比較する
- ✓ 異なるケア環境が個人支援労働者の役割期待に及ぼす影響について議論する

1.6 雇用主の方針と手順に従う

PSW職に適用される雇用主の方針と手順を特定し、識別し、それに従う。

- ✓ 職務記述書を含む、個人支援労働者の役割に適用される様々な雇用主の方針と手順について議論する

CHAPTER 2

VLO 11: Support Family and Child Care

2.1 ケア環境における対人紛争の識別と解決

このテーマは、クライアント、家族、および支援者間の紛争の認識、適切なリソースを使用した解決の試み、および多職種チームへの報告をカバーしています。

- ✓ クライアント、他の家族構成員および支援者間の紛争を識別し、適切なリソースを使用して解決を試み、多職種チームに報告する
- ✓ 個人的支援者の存在と職務がクライアントに及ぼす可能性のある潜在的な感情的影響を識別し、適切に対応し、多職種チームに報告する

2.2 家族への保育支援の提供

本トピックは、確立されたケアプランに従い、クライアントと家族への保育支援を行うことを扱っています。

- ✓ 児童の基本的発達と正常な発達段階を認識し、支援します
- ✓ 子どもを持つ家族への支援提供におけるパーソナルサポートワーカーの役割を認識します
- ✓ ADLs および IADLs の支援を含む、児童の完全なケアを提供します

2.3 家族介護者がケアと休息のバランスを取るためのサポート

このトピックは、ケア計画に従って、家族構成員がケアの提供と休息のバランスを取るための戦略を支援することをカバーしています。

- ✓ 家族介護に関連する一般的な課題（介護者負担および/または変化した家族の役割を含む）を説明し、この知識を家族構成員との相互作用に適用します

CHAPTER 3

VLO 1: Work within the PSW role in various care settings

3.1 個人中心的ケアの提供におけるPSWの役割を特定する

職場環境において個人中心的およびクライアント指向的ケアを提供する際の、個人支援労働者(PSW)の役割を理解することについて述べています。

- ✓ 個人中心的およびクライアント指向的ケアに関連する概念とスキルを特定し、議論する
- ✓ 個人支援労働者の役割に関連する省察と質改善の概念について議論する

3.2 未規制及び規制提供者の役割の比較

未規制の介護提供者と規制対象の医療専門家の間の役割と責任を特定し比較することを扱っています。

- ✓ 1991年規制保健職業法(Regulated Health Professions Act, 1991)および2007年長期療養施設法(Long-Term Care Homes Act, 2007)に定められた規制/未規制医療提供者の役割と責任を特定し、論じます。
- ✓ 個人支援労働者としての自身の役割を説明し、他の規制/未規制医療提供者の業務および責任とどのように相互作用できるかを記述します。

3.3 法規に基づいてPSW技能を熟練かつ安全に実施する

適用法規および雇用主の職務記述書およびポリシーで定められたPSW技能を熟練かつ安全に実施することをカバーしています。

- ✓ 労働安全衛生法（Occupational Health and Safety Act, R.S.O. 1990）、退職者住宅法（Retirement Homes Act, 2010）、精神保健法（Mental Health Act, R.S.O 1990）、長期療養施設法（Long-Term Care Homes Act, 2007）、規制保健専門職法（Regulated Health Professions Act, 1991）、在宅ケアおよびコミュニティサービス法（Home Care and Community Services Act, 1994）を含む、ケア設定に関連する法規を特定し遵守します。

3.4 職務範囲外のタスク実施に関するリスクの識別

個人支援労働者（PSW）の職務記述書、方針、ガイドライン、または法令に従わないタスクの実施に伴う潜在的なリスクと結果の識別をカバーします。

- ✓ 個人支援労働者として実施するタスクに関連する情報、方針およびガイダンスを特定し従う
- ✓ 法令、雇用主の方針、労働者の能力、および規制対象の保健専門家からの監督に基づいて、クライアントへの潜在的リスクを識別し、指定された状況における統制行為を含むすべてのタスクを実施する

3.5 異なるケア設定に合わせてPSWスキルセットを適応させる

個人的能力の範囲内で、施設ベースおよび地域社会ベースのケア設定において、様々な役割期待を満たすためにPSWスキルセットを適応させることをカバーしている。

- ✓ 様々なケア設定で必要とされるスキルとケアレベルを特定し比較する
- ✓ 異なるケア設定が個人支援ワーカーの役割期待に及ぼす影響について議論する

3.6 雇用主の政策と手順の位置確認と遵守

個人支援労働者(PSW)の役割に適用される雇用主の政策と手順の位置確認、特定、および遵守をカバーしています。

- ✓ 職務記述書を含む、個人支援労働者の役割に適用される様々な雇用主の政策と手順について議論する

CHAPTER 4

VLO 11: Family and Child Care Support (Elements D-E)

4.1 小児ケア提供の支援

確立されたケア計画に従い、クライアントおよび家族の小児ケアの支援をカバーします。

- ✓ 基本的な小児発達および正常な発達段階を識別し支援する
- ✓ 子どもを持つ家族への支援提供における個人支援ワーカーの役割を識別する
- ✓ IADL および ADL の支援を含む小児ケアの完全な提供を完了する

4.2 介護と休息のバランスを取るために家族を支援する

ケアプランに従って、家族が介護と休息のバランスを取るための戦略に従うのを支援することを対象としています。

- ✓ 介護者負担及び/又は変化した家族役割を含む、家族介護に関連する一般的な課題を説明し、この知識を家族との相互作用に適用します

CHAPTER 5

VLO 12: Identify, Respond to and Report Abuse and Neglect

5.1 虐待またはネグレクトのリスクにある、もしくは虐待またはネグレクトを経験しているクライアントの特定

本トピックは、虐待およびネグレクトのさまざまな形態のリスクにあるクライアント、またはそれらを経験しているクライアントを認識し、観察結果を速やかに上司に報告することについて扱っています。

- ✓ 虐待および家庭内暴力を定義する
- ✓ 乳幼児、児童、配偶者/パートナー、高齢者、身体障害者、精神疾患患者、認知機能障害者およびその介護者に適用される権力と支配の問題として虐待の概念を議論し理解する
- ✓ 虐待および家庭内暴力に関連する要因を特定し、観察結果を速やかに上司に報告する
- ✓ 虐待のさまざまな形態の指標を特定し、観察結果を速やかに上司に報告する

5.2 虐待報告のための措置および法的義務

このトピックは、クライアントが虐待またはネグレクトのリスクにさらされている、または経験した場合に取られるべき措置と、適用可能な法律に基づく法的報告義務をカバーしています。

- ✓ ネグレクトおよび/または虐待が申し立てられた、または疑われた場合の個人サポートワーカーの役割を特定し、上司への報告および徹底的な文書化の提供の要件を含める
- ✓ クライアントがリスクにさらされている、または虐待/ネグレクトの被害者であると申し立てられた、または疑われた場合、あるいは虐待/ネグレクトを目撃した場合の法的報告義務について議論し理解する
- ✓ ゼロトレランス慣行、コンプライアンスを確保する方針および法律、ならびに内部告発者保護について議論する
- ✓ 個人サポートワーカーが雇用されているすべての環境において、ネグレクトおよび/または虐待が疑われる場合の適切なリソースおよび行動方針を特定する

5.3 労働者への虐待または危害のリスク識別

本トピックは、個人支援労働者（PSW）への虐待または個人的危害のリスクを識別し、観察事項を速やかに管理者に報告することについて扱っています。

- ✓ 安全な作業環境に関連する関連法律の規定および要件を識別する
- ✓ 言語的、感情的、身体的暴力がない安全な作業環境に対する個人支援労働者の権利を説明する
- ✓ クライアントの治療拒否を含む、個人支援労働者が虐待または個人的危害のリスクにさらされる可能性のある状況を識別する
- ✓ 職場いじめ、性的虐待およびハラスメント、報告メカニズムおよび内部告発者保護を含むポリシーについて議論し、理解する
- ✓ 業務拒否の含意と適切性、クライアントへの影響、および必要な手順について議論する

5.4 法律に従ったネグレクトと虐待状況の報告

本トピックでは、適用される法律と雇用主のポリシーに従い、クライアント、家族またはケアギバーに関するネグレクトと虐待の状況を特定し報告することについて扱います。

- ✓ ネグレクトおよび/または虐待の文書化と報告に関連する機関ポリシーを特定し、これに従う。
- ✓ ネグレクトと虐待に対する不寛容方針と暴力のない環境を促進する法律および雇用主の慣行とポリシーに従う。

5.5 虐待のリスクにある、または虐待を経験しているクライアントの識別

ネグレクトのリスクにある、またはネグレクトを経験しているクライアント、および様々な形態の虐待を識別し、観察した内容を迅速に上司に報告することを対象としています。

- ✓ 虐待および家庭内暴力を定義する
- ✓ 乳幼児、児童、配偶者/パートナー、高齢者、障害者、精神疾患者、認知機能障害者およびその介護者に適用される権力と支配の問題として虐待の概念を議論し理解する
- ✓ 虐待および家庭内暴力に関連する要因を識別し、観察した内容を迅速に上司に報告する
- ✓ 様々な形態の虐待の指標を識別し、観察した内容を迅速に上司に報告する

5.6 PSWへの虐待または危害のリスクの特定

個人支援労働者（PSW）への虐待または個人的危害のリスクを特定し、観察内容を速やかに上司に報告する方法を取り扱います。

- ✓ 安全な労働環境に関連する適切な法律規定および要件を特定します
- ✓ 言語的、感情的、身体的暴力のない安全な労働環境に対するPSWの権利を説明します
- ✓ クライアントが治療を拒否する場合を含め、PSWが虐待または個人的危害のリスクにさらされる可能性のある状況を特定します
- ✓ 職場でのいじめ、性的虐待およびハラスメント、報告メカニズム、および公益通報者保護を含むポリシーについて議論します
- ✓ 業務拒否の意味と適切性、クライアントへの影響、および必要な措置について議論します

CHAPTER 6

VLO 2: Practice Professionally and Be Accountable

6.1 独立して、またチームメンバーとして実践する

PSW職務の範囲内で、独立して、かつ保健医療専門職チームの一員として実践します。

- ✓ 自分の行動に責任を持ち、間違いを認識して報告し、是正措置を取り、間違いの繰り返しを防ぐための戦略を反映して実施する
- ✓ 自分の知識、技能、および能力を超える行動および/またはアプローチを認識し、適切な指導を求める

6.2 批判的思考と問題解決の応用

個人およびチームメンバーとして、意思決定を下し、問題を解決するために批判的思考の原則を適用します。

- ✓ 個別のケア提供者として、また多職種連携チームのメンバーとして、問題解決と批判的思考への体系的なアプローチを使用します
- ✓ 必要に応じてケア設定のポリシーと相談に基づいて、最も適切な戦略を選択し実施します

6.3 PSWのための省察的実践

個人支援労働者（PSW）のための省察的実践の構成要素と関連性の特定

- ✓ クライアントを支援するための知識とスキルの乖離を特定し、それらに対処するためのリソースを見つけることについて、所有権と責任を引き受ける
- ✓ 個人の強み、ニーズ、および改善領域を特定する
- ✓ 自分の役割を超えた問題は、多職種協働チームの適切なメンバーに照会する
- ✓ 生涯学習の追求に主体的に取り組む

6.4 追加研修が必要な時点を特定する

追加研修が必要な時点を特定し、指導を求め、必要な知識およびスキルを習得するための行動を取ること

- ✓ 教育または研修カリキュラムに含まれていない手順を特定し、これらの追加スキルが特定の職場環境で教授される場合があり、特定のクライアントに特化している場合があることを認識すること

6.5 専門的成功行動の実践

信頼性、出勤、時間厳守、適切な身だしなみなど、専門的成功に貢献する行動を示すこと。

- ✓ 勤務スケジュールに変更が必要な場合は、合理的な通知を行う
- ✓ クライアントの物品を尊重と配慮を持って扱う
- ✓ 割り当てられた業務を完了し、実施できない場合は適切な担当者に通知する
- ✓ 安全のため、および雇用主の服装規定ガイドラインに従って適切に着装する

6.6 時間管理スキルの適用

日常業務において時間管理スキルを識別し、適用します。

- ✓ 割り当てられた時間枠内で複数の要求のバランスを取る
- ✓ 安全な作業慣行に沿って優先順位を設定する
- ✓ 組織的なスキルを使用して業務効率を高める
- ✓ 時間的制約と業務の複雑性により追加時間が必要な場合を認識し、クライアントおよび/または適切な者に通知する

6.7 PSW職役でのストレス管理

個人サポートワーカー(PSW)の職役でストレスを管理するための資源と技法を特定し、活用すること

- ✓ 自身、同僚、クライアント、および主要介護者のストレス兆候を特定する
- ✓ ストレスの潜在的原因と長期ストレスの生理的・行動的症状について検討する
- ✓ 個人のストレスを管理するための適切な技法を特定し、適用する
- ✓ 職場資源を特定し、活用して仕事と生活のバランスを達成する
- ✓ 同僚間のサポート機会を促進する

CHAPTER 7

VLO 2: Practice professionally and be accountable for one's own actions

7.1 PSW職の独立した実践およびチームメンバーとしての実践

PSW職の独立した実践と責任を持ちながら保健医療専門職チームの一員としての実践をカバーします。

- ✓ 自身の行動に対する責任を引き受け、過ちを認識して報告し、是正措置を講じ、繰り返しを防ぐための戦略を実施します
- ✓ 自身の知識、技能および能力を超える行動またはアプローチを認識し、適切な指導を求めます

7.2 意思決定および問題解決への批判的思考の適用

個人およびチームメンバーとして、意思決定を行い問題を解決するために批判的思考の原則を適用することをカバーしています。

- ✓ 問題解決および批判的思考に対して体系的なアプローチを使用する
- ✓ ケア設定ポリシーおよび相談に基づいて、最も適切な戦略を選択して実装する

7.3 省察的実践の構成要素と関連性の特定

個人支援労働者(PSW)向けの省察的実践の構成要素と関連性を特定することを扱います。

- ✓ 知識とスキルのギャップを特定し、リソースを見つけるための責任を担う
- ✓ 個人の強み、ニーズ、改善領域を特定する
- ✓ 自分の役割を超える問題は、適切なチームメンバーに依頼する
- ✓ 生涯学習を追求するために主導的に行動する

7.4 追加教育が必要な場合の識別

カリキュラムに含まれていない追加教育が必要な場合を識別し、指導を求め、必要な知識と技能を習得するための行動を取ることをカバーしています。

- ✓ カリキュラムに含まれていない手順を識別し、追加教育が必要であることを認識し、これらが特定の職場環境またはクライアント固有の状況で教える場合があることを理解する

7.5 職業的成功に貢献する行動の発揮

信頼性、出勤、時間厳守、時間管理、および適切な外観など、この職務に肯定的な反映をもたらす行動を発揮することについて扱います。

- ✓ 勤務予定表に変更が必要な場合は、合理的な通知を行う
- ✓ クライアントの所有物を尊重と配慮を持って扱う
- ✓ 割り当てられた業務を完了し、実行できない場合は適切な担当者に通知する
- ✓ 安全のために、また雇用主のドレスコードに従って適切に服装する

7.6 時間管理スキルの識別と適用

日々の業務において時間管理スキルを識別し適用することをカバーしています。

- ✓ 割り当てられた時間枠内で複数の業務要求のバランスを取る
- ✓ 安全な作業慣行に従って優先順位を設定する
- ✓ 組織的スキルを使用して業務効率を向上させる
- ✓ 時間的制約により追加時間が必要な場合を認識し、適切な担当者に報告する

7.7 ストレス管理のためのリソースと技術の識別

PSW職におけるストレス管理のためのリソースと技術を識別し活用することについて扱います。

- ✓ 自分自身、同僚、クライアント、および主要介護者のストレスの兆候を識別する
- ✓ ストレスの潜在的な原因と長期ストレスの現れについて論じる
- ✓ 個人的なストレス管理のための技術を識別し応用する
- ✓ 仕事と生活のバランスのために職場リソースを活用する
- ✓ ピアサポートの機会を奨励する

CHAPTER 8

VLO 13: Palliative and End-of-Life Care

8.1 緩和ケアの用語と原則の適用

このトピックでは、緩和ケアアプローチ、緩和ケア、ホスピスケア、および人生の最終段階のケアに関連する用語、原則、および実践を特定し、適用することについて扱います。

- ✓ 緩和ケア提供における多職種チームおよび個々のメンバーの役割について論議する
- ✓ 死にゆく過程に関連する一般的な衰退パターンについて説明する
- ✓ 緩和ケアアプローチ、緩和ケア、ホスピスケア、および人生の最終段階のケアの原則、実践および利益を定義し、論議する

8.2 悲嘆の認識と悲嘆している者への支援戦略の特定

このトピックは、悲嘆を喪失に対する自然で適応的で個別的な反応として認識し、クライアントと家族が悲嘆の過程を支援するための戦略を特定することを扱います。

- ✓ 喪失、悲嘆、死と臨終に関連する個人的な態度と経験について省察する
- ✓ 個人的な信念と態度がクライアントの介護にどのような影響を与えるかを論じる
- ✓ 悲嘆を喪失に対する予期された、自然で、適応的で、全人的反応として説明する。これは各個人によって独自に経験される
- ✓ 悲嘆が診断時から死亡および遺族期までの期間を通じて生じることについて論じる
- ✓ 複雑な悲嘆のリスクを高める歴史的トラウマおよび他の要因の影響を特定し論じる
- ✓ 生命を制限する／生命を脅かす疾患と関連した衰退および臨終のパターンの影響について論じる
- ✓ 悲嘆と臨終に関連した多くの側面と感情について省察する

8.3 臨終および死亡準備に関するクライアントと家族への支援

本トピックは、個人支援労働者（PSW）の役割における臨終プロセスおよび死亡準備に関するクライアントと家族への支援を扱います。

- ✓ つながり、コミュニケーション、専門的境界線の確立を通じて、支援的で治療的な関係を開発し維持する
- ✓ すべての人を尊重に値する者として考慮し、つながり、傾聴し、共感を提供し、開放的な質問をし、思いやりを持つことで、情緒的サポートを提供する
- ✓ 保健医療専門家チームとの協力の下で、クライアントと家族を支援するための戦略を特定し、議論する
- ✓ クライアントが突然死亡した場合の個人支援労働者の役割を特定し、議論する
- ✓ 突然かつ予期しない死亡の状況における検死官の役割を特定する

8.4 クライアントがケアを主導し、関係を維持することを支援する

このトピックは、クライアントが自分自身のケアを主導する機会を提供し、家族との関係を維持することに関するものです。

- ✓ 生命制限的/生命危機的な疾患と共に生活する中で、クライアントの必要性と選択肢を維持する権利を識別します
- ✓ 観察、傾聴、質問、および独自の視点を理解しようとする努力を通じて、クライアントと家族のニーズを識別します
- ✓ 家族関係を支援し、役割の維持を助け、儀式および文化的慣行に対する願い/計画を支援します
- ✓ 自分の願いと懸念を表現し、最も適切なヘルスケア専門家とケアの目標について協議したいクライアントを支援します
- ✓ 法令および雇用主のポリシーに従って、医療補助死(MAID)についてのクライアントからの問い合わせに対応し、クライアントの権利を尊重します

8.5 疼痛および症状の観察、記録および報告

本主題では、ケア計画に従って、クライアントの疼痛およびその他の症状の兆候と表現を観察、記録、および報告することをカバーします。

- ✓ 標準化されたコミュニケーションツール（例：フローシート、グラフ、SBAR）を使用して、クライアントの移動レベル、活動、セルフケア、摂取量、および意識レベルを観察、記録、および報告します
- ✓ 終末期にある人が経験する一般的な症状を特定します
- ✓ 標準化されたツールを使用して、クライアントの状態、疼痛、呼吸困難およびその他の症状に関する情報を収集、記録および報告します

8.6 事前治療計画と同意に関連する権利の特定

このトピックは、ヘルスケア同意法（Health Care Consent Act）および代理決定法（Substitute Decisions Act）に準拠した、事前治療計画、治療目標に関する議論、および同意に関するクライアント、家族、代理決定者または代理人の権利を特定することを扱っています。

- ✓ ヘルスケア同意法および代理決定法に準拠した生命終末期ケアに関する個人および家族の選択を支援する
- ✓ 生命終末期ケアにおける家族構成員および代理決定者の役割について論じる
- ✓ 治療への同意に関する代理決定者または代理人に関する適用可能な法律を特定する
- ✓ 生じる可能性のある倫理的問題を論じ、個人支援労働者の範囲を超える場合は多職種チームに報告する

8.7 臨終期のクライアントと家族へのサポート

このトピックは、臨終期のクライアントと家族へのサポート、および死、死亡、来世に関連する霊的および文化的慣行への尊重を含みます。

- ✓ 臨終期に経験する身体的変化と差し迫った死の兆候を特定し、報告します
- ✓ 傍にいることによってクライアントと家族をサポートし、生の最後の日と時間中にケアと快適性の対策を提供します
- ✓ 家族の指示、文化的慣行、雇用主方針またはケア計画に従い、死後の身体のケアを提供します
- ✓ クライアントの死の時とその後に家族をサポートします
- ✓ 病気の経過全体と遺族期間を通じて、個人と家族が宗教的、文化的および霊的儀式を実践する機会を提供します

8.8 緩和ケアの用語、原則、および実践

緩和的ケアアプローチ、緩和ケア、ホスピスケア、および終末期ケアに関連する用語、原則、および実践を特定し、適用することについて扱います。

- ✓ 緩和ケアの提供における多職種チームとその個々のメンバーの役割について議論します
- ✓ 死に関連する一般的な衰退パターンについて説明します
- ✓ 緩和的ケアアプローチ、緩和ケア、ホスピスケア、および終末期ケアの原則、実践、および利点を定義し、議論します

8.9 自然な反応としての悲しみと悲しみのサポート

悲しみを喪失に対する自然で適応的で個人的な反応として特定し、クライアントと家族が悲しみを処理するのを支援する戦略をカバーしています。

- ✓ 喪失、悲しみ、死と死亡に関連する個人的な態度と経験を反映します
- ✓ 個人的な信念と態度がクライアントのケアに与える影響について議論します
- ✓ 悲しみを予想される自然で適応的であり、各人が独自に経験する全人的な喪失への反応として説明します
- ✓ 診断から死亡および遺族期間を通じて発生する悲しみについて議論します
- ✓ 歴史的外傷と複雑な悲しみのリスクを増加させる要因を特定し、議論します
- ✓ 生命制限的および生命を脅かす疾患とクライアント、家族およびPSWに対する衰退パターンの影響について議論します
- ✓ 悲しみと死に関連する多くの側面と感情について反映します

8.10 終末期プロセスにおけるクライアントと家族への支援

PSW役割内において、クライアントと家族の終末期プロセスおよび死亡準備に関する支援を取り扱います。

- ✓ つながり、コミュニケーション、専門的境界線の設定を通じて、支持的で治療的な関係を構築し維持します
- ✓ すべての人を尊重し、つながり、傾聴し、共感を提供し、思いやりのある態度で感情的支援を提供します
- ✓ 多職種チームとの協力を通じて、クライアントと家族を代弁するための戦略を特定し、論議します
- ✓ クライアントが突然死亡する場合におけるPSWの役割を特定し、論議します
- ✓ 突然で予期しない死亡の状況における検査官の役割を特定します

8.11 クライアントが自らのケアと関係を主導する

人生を制限する疾病または人生を脅かす疾病とともに生きながら、クライアントが自らのケアを主導する機会を提供し、家族との関係を維持するよう支援することをカバーしています。

- ✓ クライアントのニーズと、人生を制限する疾病/人生を脅かす疾病とともに生きながら選択肢を維持する権利を特定します
- ✓ 観察、傾聴、質問、独自の視点の理解を通じて、クライアントと家族のニーズを特定します
- ✓ 家族関係をサポートし、役割の維持を助け、儀式および文化的実践への希望/計画をサポートします
- ✓ クライアントが適切な専門家とともに希望、質問、ケアの目標を表現し、議論することを希望する場合をサポートします
- ✓ 法律および雇用者の方針に従い、医療補助死(MAID)に関するクライアントの問い合わせに対応します

8.12 アドバンスケアプランニングおよび同意に関連する権利

クライアント、家族構成員、代理意思決定者、または個人的ケアの委任状(POAPC)所有者のアドバンスケアプランニング、ケアの目標に関する議論、および治療同意に関連する権利の認識をカバーしています。

- ✓ 関連する法令に沿ったライフエンドケアに関する個人および家族の選択を支援します
- ✓ ライフエンドケアにおける家族構成員および代理意思決定者の役割を議論します
- ✓ 同意に関する代理意思決定者または個人的ケアの委任状に関する適用可能な法令を特定します
- ✓ 生じる可能性のある倫理的問題を議論し、PSW職域を超える場合は保健医療専門職チームに報告します

8.13 非薬物的快適ケア対策の提供

このトピックは、ケアプランに従い、症状を経験しているクライアントに非薬物的快適ケア対策を提供することについて扱っています。

- ✓ 非薬物的快適ケア対策の範囲を特定し、提供します（例：温熱及び冷却療法の適用、体位変換、心象療法、瞑想／沈黙、音楽）
- ✓ 快適性のニーズと快適ケア対策の選好についてクライアントからの意見を求めます

8.14 快適ケア対策に対する反応の報告と記録

このトピックは、クライアントの快適ケア対策に対する反応を報告し記録することを扱っています。

- ✓ クライアントから快適ケア対策に対する反応についてのフィードバックを求め、記録し、症状が改善しない場合はチームに直ちに懸念事項を伝えます

8.15 日常のルーティンにセルフケア実践を統合する

このトピックは、死期が近い患者とその家族のケアを行う際に、日常のルーティンにセルフケア実践を統合することに取り組みます。

- ✓ 特に死期が近い患者と家族のケアを行う際のセルフケア実践の根拠を検討します
- ✓ 思いやり疲労に関連する感情、思考および行動を説明します
- ✓ 思いやり疲労を防ぐセルフケア戦略を特定します
- ✓ 健康とウェルネスをサポートするセルフケア計画を策定します

8.16 多様な集団に対する文化的に安全な緩和ケアの提供

このトピックは、疾病の軌跡および喪の期間を通じて、先住民ならびに少数集団および過度にサービスを受けていない集団に対して、文化的に安全な緩和ケアを提供することをカバーしています。

- ✓ 文化的に安全な緩和ケアの提供において、文化的謙虚さ、文化的配慮、文化的認識、文化的能力について論じる
- ✓ 緩和ケアの提供にファースト・ネーションズ、イヌイット、メティス・コミュニティ固有のプロトコルおよび実践を組み込む

8.17 多様な人口に対する文化的に安全な緩和ケア

先住民および少数民族ならびに過小サービス人口に対して、疾病経過全体と喪の中で文化的に安全な緩和ケアを提供することをカバーしています。

- ✓ 文化的に安全な緩和ケアにおいて、文化的謙虚さ、文化的配慮、文化的認識、および文化的能力について議論する
- ✓ 緩和ケアにファースト・ネーション、イヌイット、およびメティスのコミュニティ固有のプロトコルおよび慣行を統合する

CHAPTER 9

VLO 3: Practice as an Engaged Interprofessional Team Member

9.1 多職種チームメンバーの役割の認識

最適なサポートとケアの提供における多職種チームメンバーの役割を認識すること

- ✓ 雇用主、スーパーバイザー、およびその他のケア/サービス提供者の役割と責任を説明する
- ✓ 多職種チーム内における個人支援労働者の役割と責任を説明する
- ✓ 多職種チーム内におけるクライアントと家族構成員の役割と責任を説明する

9.2 尊重的な職務関係の構築

他の専門職チームメンバーとの尊重的で協働的な職務関係を構築・維持すること。

- ✓ 尊重的で効果的な専門職間職務関係の特性を特定し説明する
- ✓ チームメンバーと相互依存的に働き、定期的にコミュニケーションを取り、要求に応答し、情報を明確にし、指示を受け入れる
- ✓ 諮問委員会またはその他のグループへの参加の価値を特定し、議論する
- ✓ クライアントのニーズを満たすために、専門職チームと協働で働く

9.3 クライアント情報をチームに報告する

クライアントの継続的な状態と提供されたケアに関する情報を、多職種チームのメンバーに継続的かつ適切なタイミングで報告する。

- ✓ スーパーバイザー、登録職員、その他の専門家とクライアントの継続的な状態および提供されたケアについてコミュニケーションを取る
- ✓ クライアントのケア計画に関する提案を提供することで、多職種チームを支援する

9.4 チームの参加メンバーとしての業務と学習

多職種協働チームの参加メンバーとして、業務を遂行し学習すること。

- ✓ 上司または他のチームメンバーから情報を求め、支援と指導を要請する
- ✓ 最良のクライアント成果を確保するため、他者と協働する
- ✓ 自らの知識および技能レベル内において、他のチームメンバーを支援し、援助を提供する

9.5 建設的なフィードバックの受け入れと実行

クライアント、家族、スーパーバイザー、およびチームメンバーからの建設的なフィードバックを受け入れ、それを実行すること。

- ✓ 建設的なフィードバックと破壊的なフィードバックを区別する
- ✓ スキルと専門性を高めるために、適切な場合にフィードバックを求める
- ✓ 受け取ったフィードバックを熟考し、自身の実践に実装する

9.6 ケアの質と効率性の向上

医療専門家チームによって提供されるケアの質、有効性、および効率性の向上を支援すること。

- ✓ クライアントのケア計画の開発に参加し協力する
- ✓ ブリーフィングおよびその他の活動を通じてケア改善の方法を特定する
- ✓ PSWがケアの質と職場の健康に貢献できる方法について議論する
- ✓ 委員会およびグループに参加する機会を特定する

CHAPTER 10

VLO 3: Practice as an engaged member of the interprofessional team

10.1 多職種チームメンバーの役割を特定する

最適なサポートとケアを提供するために、多職種チームメンバーが持つ役割を特定することを扱います。

- ✓ 雇用主、監督者およびその他のケア/サービス提供者の役割と責任を説明する
- ✓ 多職種チーム内での個人サポートワーカー(PSW)の役割を説明する
- ✓ 多職種チーム内でのクライアント及び家族の役割を説明する

10.2 尊重的な職場関係の構築と維持

他の医療専門職チームメンバーとの尊重的で効果的な職場関係を構築および維持することについて取り扱います。

- ✓ 尊重的で効果的な職場関係の特性を特定する
- ✓ 相互に依存しながら業務を遂行し、定期的にコミュニケーションを取り指示を受け入れる
- ✓ 諮問委員会またはその他のグループへの参加の価値について検討する
- ✓ クライアントのニーズを満たすために協力的に業務を遂行する

10.3 クライアント情報をチームに伝達する

継続的かつ適切なタイミングで、多職種チームのメンバーにクライアント関連情報を伝達することが含まれます。

- ✓ 上司、登録看護師およびその他の専門家と、クライアントの状態とケアについてコミュニケーションを取る
- ✓ クライアントのケア計画に関する提案を貢献することでチームをサポートする

10.4 参加チームメンバーとして働き学ぶ

多職種協働チームの参加メンバーとして働き学ぶことについて扱います。

- ✓ 情報を求め、必要に応じてサポートと指導を要請する
- ✓ 最良のクライアント成果を確保するために協働する
- ✓ 自身の知識とスキルレベル内で他のチームメンバーを支援する

10.5 建設的なフィードバックを受け入れ、実行する

クライアント、家族、スーパーバイザー、およびチームメンバーからの建設的なフィードバックを受け入れ、それを実行することをカバーしています。

- ✓ 建設的なフィードバックと破壊的なフィードバックを区別する
- ✓ 必要に応じてフィードバックを求める
- ✓ フィードバックを反映し、実践に実装する

10.6 ケア品質、有効性および効率性の向上

チームが提供するケアの品質、有効性および効率性を向上させることを支援することをカバーしています。

- ✓ クライアントのケア計画の開発に協力し参加する
- ✓ ブリーフィングおよび他の活動を通じてケアの改善方法を特定する
- ✓ PSWがケアの品質と職場ウェルネスに貢献する方法について議論する
- ✓ 委員会およびグループに参加する機会を特定する

CHAPTER 11

VLO 4: Provide Person-Centred Care Based on Ethical Principles

11.1 自律性、尊厳、プライバシーおよび機密保持の尊重

すべての場面において、個人の自律性、尊厳、プライバシー、選好、安全性、独立性および機密保持に対する権利を尊重します。

- ✓ 正義、誠実性、完全性、思いやりのあるケアを含むPSW倫理を特定し、説明し、関連する倫理規定で見つけることができます。
- ✓ 自律性、正義、慈善性および危害回避を含む医療倫理の基本原則を特定し説明します。
- ✓ PSW職における倫理原則の適用方法を論議します。
- ✓ PIPEDA、PHIPA 2004、退職者住宅法2010、および長期ケア住宅法2007を含むプライバシーおよび機密保持に関する法定権利を特定し論議します。
- ✓ 電子通信およびソーシャルメディア利用の影響を特定し論議します。

11.2 利用者の自立を促進する

様々なケア環境における利用者の自立を促進します。

- ✓ 依存性、自立性、相互依存性を区別する
- ✓ 様々なケア環境におけるクライアントの自立を促進するための戦略を特定し実行する

11.3 各クライアントをユニークな個人として扱う

ユニークな性格と身体的、感情的、精神的、霊的、社会的、性的、および文化的ニーズを持つ個人として、各クライアントを扱うこと。

- ✓ クライアントがユニークな生活経験とニーズを満たす方法を持っていることの理解をケアに組み入れる
- ✓ 様々なニーズの重要性についてクライアントと議論し、ケアに適用する
- ✓ クライアントのコミュニティ関係の維持を奨励する
- ✓ 状態の変化の重要性について議論し、必要に応じて報告する
- ✓ 人権法に従ってクライアントの尊厳とプライバシーの権利を尊重する
- ✓ クライアントが関心のある活動の維持を支援する

11.4 選択権の尊重と直接的ケアの指示

個人の能力に応じて、選択、決定、および支援的ケアを指示する権利を尊重するケアの提供。

- ✓ 個人中心のケアと個人指示ケアの違いを区別する
- ✓ オンタリオ州人権法、医療同意法1996年、代理決定法1992年、長期ケアホーム法2007年を含む適用可能な法規を特定する
- ✓ 合理的なリスク負担と危険な活動を区別する
- ✓ 選択権と自己認識および尊厳の関係を説明する
- ✓ ケアの拒否またはケア計画からの逸脱に対応する戦略を議論する
- ✓ 代理決定者が適切な時期を明確にする
- ✓ 家族および代理決定者との紛争時には監督者の指示を求める
- ✓ 個人が望むことと必要なことを伝えるのを支援する

11.5 文化的に敏感で偏見のないケアの提供

人種、民族、文化、宗教、性別、性的指向、および社会階級を含む独自の特性を尊重するサポーティブケアの提供

- ✓ PSW自身の価値観および他のグループに対する個人的態度を認識する
- ✓ クライアントの健康、疾病または迫り来る死の文化的意義を特定する
- ✓ 文化がコミュニケーションに影響を与える可能性のある方法を特定し尊重する
- ✓ 文化的/精神的情報のためのリソースを特定する
- ✓ 差別的行為の影響を認識し、それを改善するための措置を講じる
- ✓ 個人的および構造的偏見およびレイシズムの原因を探索する
- ✓ レイシズムおよび偏見に対処するための個人的な戦略を特定する

11.6 クライアントの家族構造の定義を尊重する

クライアントの家族構造の定義と、クライアント、家族および重要な人物の役割と責任を特定し尊重します。

- ✓ 家族と友人の役割およびクライアントに対する重要性を特定する
- ✓ 友人と家族の役割に関するクライアントの個人的期待を特定する
- ✓ クライアントおよび家族構成員によるサポート受け入れに影響を与える可能性のある要因を特定する

CHAPTER 12

VLO 14: Mental Health, Cognitive Impairment and Responsive Behaviours

12.1 メンタルヘルス疾患に関連する変化の認識

このトピックは、メンタルヘルスの課題および疾患に関連するクライアントの知覚、記憶、判断、組織化、言語および運動スキルの変化の兆候を認識し、重症度に応じた影響の違いを理解することを扱っています。

- ✓ ストレス、対処、およびメンタルヘルスの課題と疾患に関連する課題について議論する
- ✓ ライフスパン全体にわたるソーシャルメディアがメンタルヘルスに与える影響について議論する
- ✓ 精神疾患に関連する偏見と、それが自己認識、機能および治療にどのように影響するかについて議論する
- ✓ メンタルヘルスに関連する行動の変化を観察して認識し、ケア計画に従い、改善を提唱する
- ✓ 不安障害や気分障害を含むメンタルヘルス状態に関連するケア、介入およびコミュニティリソースを特定する
- ✓ クライアントがコントロール、意義および目的を取り戻すことができるようにする回復志向的なアプローチを支援する
- ✓ 誤解と偏見について議論し、それらがクライアント、家族およびワーカーの認識と機能にどのように影響するかについて論じる
- ✓ 個人支援ワーカーの役割について議論し、ケアと介入が役割を超えている場合を特定する
- ✓ 先住民のためのトラウマと植民地化の影響、およびトラウマ、依存症とメンタルヘルスの関係について議論する

12.2 認知機能障害と認知症に関連する変化の特定

本トピックでは、認知機能障害および知的障害、せん妄および/または認知症に関連したクライアントの知覚、記憶、判断、組織化、言語およびモータースキルの変化の兆候を特定することをカバーしています。

- ✓ 症状/提示がクライアントの行動、性格、自己認識および相互作用にどのように影響するかを説明する
- ✓ 行動の変化を観察・特定し、専門家チームと協力してケア計画の改定を提唱する
- ✓ 可逆的(治療可能な)および不可逆的状態によって引き起こされる障害を特定する
- ✓ 疾病、疲労、ストレス、感覚過負荷、痛み、恐怖、欲求不満、抑うつなどの要因がさらに機能に影響を与える方法を特定する
- ✓ 個人支援労働者の役割を議論し、ケアおよび介入が役割を超えている場合を特定する

12.3 反応的行動を軽減するための行動戦略の使用

本トピックは、ケアプランおよび適用法に従って、クライアントの反応的行動を軽減または悪化させないための基本的な行動戦略の使用について扱っています。

- ✓ クライアントと介護者の視点から、保護的および/または反応的行動について議論する
- ✓ 反応的行動の原因とトリガーを特定し、可能な解決策について議論する
- ✓ すべてのクライアントに対してベストプラクティス戦略と人中心のアプローチを使用する（例：穏和な説得的アプローチ）
- ✓ ケアプランに従って危機予防の基本原則を適用する
- ✓ 行動戦略に対するクライアントの反応を報告し、効果的な戦略を多職種チームと共有する
- ✓ 他者の安全に対する潜在的リスクとなるクライアントの行動を特定し、報告し、記録する

12.4 中毒および物質使用に関連する変化の特定

このトピックは、物質、ギャンブル、またはその他の行動への中毒に関連するクライアントの行動および機能の変化を特定することをカバーしています。

- ✓ ストレス、対処、および物質使用に関連する課題について論じる
- ✓ 物質使用および中毒に関連する行動の変化を特定する
- ✓ 物質を使用しているまたは中毒のあるクライアントのためのリソース、サポート、および戦略を特定する
- ✓ 個人支援労働者の役割内での過剰摂取管理および予防に関連する戦略について論じる
- ✓ 物質使用および中毒行動のある個人のケア、介入、および治療計画を認識およびサポートする
- ✓ 戦略に対するクライアントの反応を観察し、適切な監督者に報告する
- ✓ 個人支援労働者の役割について論じ、サポートおよび介入がその役割を超える場合を特定する
- ✓ 他者の安全に対する潜在的なリスクとなるクライアントの行動を特定し、報告し、記録する

12.5 自殺念慮および自殺行動に関する従業者の役割

このトピックでは、自殺念慮および自殺行動を示す個人に対して、クライアント中心のケアを提供する個人支援従事者の役割を明確にします。

- ✓ ストレス、対処方法、および自殺行動に関連する課題について論議する
- ✓ 生涯を通じて自殺行動または自傷行為を引き起こす可能性のある要因を特定する
- ✓ 自殺または自傷のリスクを示唆する警告信号および行動について説明する
- ✓ 自殺に関する個人的な見方を特定し、提供されるサポートにどのように影響するかを検討する
- ✓ 自殺念慮または行動の可能性のある指標を認識し、多職種チームに報告する
- ✓ 地域社会のサポートに連絡し、ケア計画に示されているようにリソースを収集する
- ✓ 行動戦略に対するクライアントの反応を観察し、戦略を多職種チームと共有する
- ✓ 自殺念慮を経験しているクライアントの行動を特定、報告、および記録し、他者へのリスクを含める

12.6 精神保健上の課題に関連する変化の兆候

精神保健疾患に関連するクライアントの知覚、記憶、判断、組織化、言語、および運動スキルの変化の兆候を特定し、重症度による影響の違いについて扱います。

- ✓ ストレス、対処、および精神保健上の課題と疾患に関連する課題について論じます
- ✓ 全ライフスパンにわたるソーシャルメディアが精神保健に及ぼす影響について論じます
- ✓ 精神疾患の汚名とそれが自己認識、機能、およびケアの質に及ぼす影響について論じます
- ✓ 精神保健に関連する行動の変化を観察・特定し、ケアプランに従います
- ✓ 不安および感情障害を含む精神保健状態に関連するケア、介入、および地域資源を特定します
- ✓ 回復志向型のアプローチをサポートします
- ✓ 固定観念と汚名、およびそれがクライアント、家族、およびPSWに及ぼす影響について論じます
- ✓ PSWの役割とケアが役割を超える場合について論じます
- ✓ 先住民族に対する外傷と植民地化の影響、および外傷、依存症、精神保健間の関係について論じます

12.7 認知機能障害、譫妄、認知症に関連する変化の兆候

認知および知的機能障害、譫妄および/または認知症に関連する変化の兆候を特定する方法と、重症度に応じてこれらの影響がどのように異なるかについて説明します。

- ✓ 症状が行動、性格、自己認識および相互作用にどのような影響を与える可能性があるかを説明します
- ✓ 行動の変化を観察して特定し、ケア計画の改訂を支援します
- ✓ 治療可能な(可逆的な)および治療不可能な(不可逆的な)状態によって引き起こされる障害を特定します
- ✓ 病気、疲労、ストレス、感覚過負荷、疼痛、恐怖、欲求不満および抑うつなど、機能に影響を与える要因を特定します
- ✓ PSWの役割とケアが役割を超える場合について議論します

12.8 後天性脳損傷に関連した変化の兆候

脳卒中を含む後天性脳損傷に関連した変化の兆候の特定をカバーし、重症度による影響のばらつきについて説明します。

- ✓ 脳卒中を含む後天性脳損傷の定義および対応する症状を特定する
- ✓ 後天性脳損傷の症状を損傷した脳の機能および部位に関連付ける
- ✓ 脳卒中を含む後天性脳損傷に関連した行動変化の兆候を特定する
- ✓ 管理およびリハビリテーションサービスを特定する
- ✓ PSWの役割およびケアが役割を超える場合について議論する

12.9 反応的行動を緩和するための行動戦略

ケアプランおよび適用される法律に従って、クライアントの反応的行動を軽減またはエスカレーションを解除するための基本的な行動戦略の使用をカバーしています。

- ✓ クライアントと介護者の視点から、保護的および/または反応的行動について議論します
- ✓ 反応的行動の原因とトリガーを特定し、可能な解決策について議論します
- ✓ ベストプラクティス戦略と人中心アプローチ(例：穏和説得的アプローチ)を使用します
- ✓ ケアプランに従って、危機予防の基本原則を適用します
- ✓ クライアントの反応を報告し、効果的な戦略を多職種チームと共有します
- ✓ 他者の安全に対する潜在的リスクとなるクライアントの行動を特定、報告、記録します

12.10 中毒および物質使用に関連する変化

中毒、ギャンブル、またはその他の行動に関連する行動、知覚、記憶、判断、組織、言語、および運動能力の変化を特定することについて説明します。

- ✓ ストレス、対処、および物質使用に関連する課題について議論する
- ✓ 物質使用と中毒に関連する行動の変化を特定する
- ✓ 物質を使用しているまたは中毒のあるクライアントのためのリソース、サポート、および戦略を特定する
- ✓ PSWの役割内での過剰摂取管理と予防について議論する
- ✓ ケア、介入、および治療計画の認識とサポートを行う
- ✓ クライアントの戦略への反応を観察し、スーパーバイザーに報告する
- ✓ PSWの役割とサポートが役割を超える場合について議論する
- ✓ 他者の安全に対する潜在的リスクとなる行動を特定し、報告し、記録する

12.11 自殺念慮および自殺行動のケアにおけるPSWの役割

自殺念慮および自殺行動を示している個人に対するクライアント中心のケア提供におけるPSWの役割を特定することを扱っています。

- ✓ ストレス、対処方法、および自殺行動に関連する課題について論述する
- ✓ 生涯にわたって自殺行動または自傷行為を引き起こす可能性のある要因を特定する
- ✓ 自殺または自傷行為のリスクを示唆する警告兆候および行動を説明する
- ✓ 自殺に関する個人的見解を特定し、それがサポートにどのように影響するかを認識する
- ✓ 起こり得る指標を認識し、多職種チームに報告する
- ✓ 地域社会のサポートに連絡し、ケア計画に従ってリソースを収集する
- ✓ 反応を観察し、多職種チームと戦略を共有する
- ✓ 行動を特定、報告、記録し、他者の安全へのリスクを含める

12.12 後天性脳損傷に関連した変化の識別

本トピックは、脳卒中を含む後天性脳損傷に関連した変化の兆候を識別し、重症度によって影響がどのように異なるかについて扱います。

- ✓ 脳卒中を含む後天性脳損傷の定義と対応する症状を識別する
- ✓ 後天性脳損傷の症状を損傷した脳の機能および領域に関連付ける
- ✓ 脳卒中を含む後天性脳損傷に関連した行動変化の兆候を識別する
- ✓ 後天性脳損傷のあるクライアントに対する管理およびリハビリテーション支援を識別する
- ✓ 個人的支援労働者の役割について述べ、ケアおよび介入がその役割を超える時期を識別する

12.13 活動における励励と刺激技法の使用

このトピックは、励励および刺激技法を使用し、ケアプランに従ってクライアントが活動に参加する機会を提供することについて扱っています。

- ✓ 刺激技法に使用されるリソースとツールを特定する
- ✓ クライアントの好みと以前の経験を特定して、適切な活動を提案する

12.14 処方された支援方法への反応の観察および報告

このトピックは、処方された支援方法に対するクライアントの反応を観察・報告し、クライアントの行動変化を記録することについて扱っています。

- ✓ 個々のクライアントにとって通常的または典型的な反応が何かを特定する
- ✓ クライアントの処方された支援方法に対する反応を多職種連携チームの適切なメンバーに報告する

12.15 介護業務の一貫したアプローチの提供

このトピックは、認知機能障害、精神保健疾患、および/またはその反応的行動を経験しているクライアントに対して、一貫したケアプロバイダーと対応方法を提供することをカバーしています。

- ✓ ケアプロバイダーの一貫性とアプローチを提供することがクライアントに与える利益を説明してください
- ✓ ケアプランに記載されているルーチンを尊重してください

12.16 自殺念慮が即座の対応を必要とする場合の認識

このトピックでは、自殺念慮などの予期しないクライアント行動が即座の対応と上司への報告が必要な場合を認識することを扱っています。

- ✓ 成人の生命または身体的危害のリスクを増加させる可能性のある要因を特定する
- ✓ 自殺行動の可能性のある兆候を認識する
- ✓ 個人的支援労働者自身の自殺に関する見解を特定し、これらの見解が提供されるサービスにどのように影響を与える可能性があるかを検討する

12.17 励励ましと刺激技法の使用

励ましと刺激技法の使用、および介護計画に従ってクライアントが活動に参加する機会の提供をカバーしています。

- ✓ 刺激技法に使用されるリソースとツールを特定する
- ✓ クライアントの好みと過去の経験を特定し、適切な活動を提案する

12.18 ケアギビングアプローチの一貫性を提供する

認知障害、精神健康疾患および／または反応的行動を経験しているクライアントのためのケアギビングタスクにおいて、一貫したアプローチを提供することをカバーしています。

- ✓ ケアギバーとアプローチの一貫性がクライアントにもたらす利点を説明する
- ✓ ケアプランに記載されているルーチンを尊重する

12.19 即座の対応が必要な行動の認識

自殺念慮などの予期しないクライアント行動が、即座の対応とスーパーバイザーへの報告を必要とする時期を識別することを扱います。

- ✓ 成人の生命または身体的危害のリスクを増加させる可能性のある要因を識別する
- ✓ 自殺行動の可能な兆候を認識する
- ✓ PSW自身の自殺に関する見方と、それがサービスに与える可能性のある影響を識別する

CHAPTER 13

VLO 4: Provide person-centred care based on ethical principles

13.1 個人の自律性と機密保持権を尊重する

個人の自律性、尊厳、プライバシー、嗜好、安全、独立性、および機密保持に対する権利を常に尊重することをカバーしています。

- ✓ 関連する倫理規範から正義、誠実性、完全性、思いやりのある介護を含むPSW倫理を特定する
- ✓ 医療倫理の基本原則を特定する：自律性、正義、善行および非悪行
- ✓ PSWの役割における倫理原則がどのように適用されるかを検討する
- ✓ PIPEDA 2000、PHIPA 2004、Retirement Homes Act 2010、Long-Term Care Homes Act 2007を含むプライバシーに関する法定上の権利を特定する
- ✓ 電子通信およびソーシャルメディアがプライバシーと機密保持に与える影響について検討する

13.2 利用者の自立性の促進

様々なケア環境における利用者の自立性を促進することを扱います。

- ✓ 依存性、自立性および相互依存性を区別する
- ✓ クライアントの自立性を促進するための戦略を特定し実行する

13.3 各クライアントをユニークな個人として扱う

各クライアントをユニークな個性、興味、能力および多様なニーズを持つ個人として扱うことをカバーします。

- ✓ クライアントがユニークな人生経験を持つことの理解をケアに組み込む
- ✓ 身体的、感情的、精神的、知的、精神的、娯楽的、社会的、性的および文化的ニーズの重要性を論じる
- ✓ クライアントのコミュニティ関係の維持を奨励する
- ✓ 状態変化の重要性を論じ、必要に応じて報告する
- ✓ 人権法に従い、尊厳およびプライバシー権を尊重する
- ✓ クライアントの関心活動の維持を支援する

13.4 個人の選択肢と介護指示権の尊重

個人の選択、決定、および支援的介護を指示する権利を尊重しながら、自立を維持する介護提供をカバーします。

- ✓ 個人中心の介護と個人指示型介護の違いを区別します
- ✓ オンタリオ州人権法、医療同意法1996、代理決定法1992、長期療養施設法2007などの適用法令を特定します
- ✓ 合理的なリスク受容と危険な活動を区別します
- ✓ 個人の選択権を自己認識と尊厳と結びつけます
- ✓ 個人による介護拒否または介護計画からの逸脱に対応します
- ✓ 代理決定者が行動できる時期を明確にします
- ✓ 家族と代理決定者が関わる紛争について上司の指示を求めます
- ✓ 個人が希望と必要性を伝えるのを支援します

13.5 独自の文化的および個人的特性を尊重したケアの提供

人種、民族、文化、宗教、年齢、能力、性別、性的指向、家族構成などの独自の特性を尊重する支援的ケアの提供を対象としています。

- ✓ PSW自身の価値観と他のグループに対する個人的態度を認識する
- ✓ クライアントの健康、状態、疾病または差し迫った死亡の文化的意義を識別する
- ✓ 文化がコミュニケーションに影響を与える方法を識別し尊重する
- ✓ 文化的/精神的情報のリソースを識別する
- ✓ 差別的行動の影響を認識し、それを改善する
- ✓ 個人的および構造的偏見とレイシズムの原因を探索する
- ✓ レイシズムと偏見に対処するための個人的戦略を識別する

13.6 クライアントの家族構造と役割の定義を尊重する

クライアントの家族構造の定義およびクライアント、家族、および重要な関係者の役割を特定し尊重することを扱います。

- ✓ 家族および友人の役割とクライアントにとってのそれらの重要性を特定する
- ✓ 友人および家族の役割に関するクライアントの個人的期待を特定する
- ✓ クライアントおよび家族構成員のサポート受け入れに影響を与える要因を特定する

CHAPTER 14

VLO 5: Establish and Maintain Therapeutic Relationships

14.1 治療的関係の基本原則の活用

ケア提供時に治療的関係の基本原則を活用する。

- ✓ 治療的関係の概念とその重要性を説明する
- ✓ 治療的関係の特性を特定し説明する
- ✓ これらの関係がクライアント-PSW役割をどのように確立し維持するかを説明する

14.2 専門的境界の設定と維持

治療的関係における専門的境界の設定と維持。

- ✓ 専門的境界の重要性を説明し、議論する
- ✓ 適切なクライアント-PSW および家族-PSW 境界に関連する行動を説明する
- ✓ 個人的な活動と必要が判断力および業務遂行に支障をきたさないようにする
- ✓ 個人的な問題、生活様式、意見をクライアントと共有したり、強要したりしない

14.3 情報の機密性とプライバシーの維持

法律および雇用主の方針に従い、クライアントの個人情報の機密性とプライバシーを維持します。

- ✓ PIPEDAおよびPHIPA 2004を含むプライバシーおよび機密性に関する法律を特定し遵守します
- ✓ 個人のアクセス権に関する法律を特定し遵守します
- ✓ クライアントのプライバシー権がPSWの役割に与える影響を特定します
- ✓ 機密性違反がないことを説明し保証します

14.4 文化的に配慮したケア相互作用の提供

クライアントとその家族との相互作用の際に、文化的に配慮したケアを提供します。

- ✓ 文化的に配慮した言語的および非言語的コミュニケーションを特定し、実行する
- ✓ PSW自身の文化がコミュニケーションに与える影響を特定し、偏見について省察する
- ✓ 前向きで思いやりのある態度、共感、尊重、および多様性への感受性を使用する

14.5 クライアントのニーズに適応したコミュニケーションスキル

クライアント、ご家族および支援システムの多様な固有のニーズを満たすために、コミュニケーションスキルを特定し適応させること。

- ✓ コミュニケーションの一般的な障壁と影響を最小化する技法を特定する
- ✓ 自身の非言語的コミュニケーションがどのように解釈される可能性があるかを特定する
- ✓ 自身の態度、信念およびバイアスを検討する
- ✓ 積極的傾聴、明確化、明確なフィードバック提供などの技法を使用する
- ✓ 理解を促進するようにコミュニケーションを適応させる
- ✓ コミュニケーション障害および感覚欠損の影響を特定する
- ✓ 視覚、聴覚、音声および言語を含む変化した感覚能力に対してコミュニケーションを適応させる
- ✓ 不効果的なコミュニケーションが権力と支配の悪用につながる可能性について論じる
- ✓ 子どもが関与する場合にコミュニケーションを適応させ、支援を活用する

14.6 補助装置を用いたコミュニケーション支援

ケアプランに従い、補助装置を使用してクライアントの言語的および非言語的コミュニケーションを支援します。

- ✓ 標識板、画像板、コミュニケーションカード、コンピュータ支援技術などの基本的なコミュニケーション補助具を特定し、使用します
- ✓ コミュニケーションを促進するための適切なコミュニティリソースを特定します

14.7 明確な専門用語の使用

クライアント及び専門職間協働チームの他のメンバーとのコミュニケーションにおいて、明確な専門用語を使用します。

- ✓ 専門職間協働チームの他のメンバーとのコミュニケーションでは、明確な専門用語を使用します
- ✓ クライアント及びその家族とのコミュニケーションでは、基本的な医療用語を使用します

14.8 紛争管理スキルの活用

対人コミュニケーションと紛争管理スキルを使用して、介護状況における紛争を予防および解決します。

- ✓ 介護状況における紛争の一般的な原因を特定する
- ✓ 紛争の予防と解決のためのアプローチを特定、議論および実行する
- ✓ クライアント、家族メンバーおよび介護者間の基本的な紛争解決技法を実行する

CHAPTER 15

Essential Employability Skills

15.1 コミュニケーションスキル

このトピックは、読む、書く、話す、聞く、プレゼンテーション、および視覚的リテラシーを含むコミュニケーションスキルを示すことを扱っています。

- ✓ 目的を果たし、聴衆のニーズを満たす書面、口頭、および視覚的な形式で、明確、簡潔、かつ正確に伝える
- ✓ 効果的なコミュニケーションを確保する方法で、書面、口頭、または視覚的なメッセージに応答する

15.2 批判的思考と問題解決

このトピックは、分析、総合、評価、意思決定、および創造的で革新的な思考をカバーしています。

- ✓ 問題を解決するために体系的なアプローチを適用してください
- ✓ さまざまな思考スキルを使用して問題を予測し、解決してください

15.3 対人スキル

このトピックは、チームワーク、関係管理、紛争解決、リーダーシップ、ネットワーキングをカバーしています。

- ✓ 他者の多様な意見、価値観、信念体系および貢献に対する敬意を示します
- ✓ 効果的な職務関係の構築と目標達成に貢献する方法で、グループまたはチーム内で他者と相互作用します

15.4 個人的スキル

このトピックは、自己管理、変化への対応と柔軟性、省察的実践、および個人的責任を扱っています。

- ✓ プロジェクトを完了するために、時間およびその他のリソースの使用を管理する
- ✓ 自分の行動、決定およびその結果に対して責任を負う

15.5 数値スキル

本トピックは、数学的概念の理解と応用、数値データの分析および概念化に対応しています。

- ✓ 数学的操作を正確に実行する

15.6 情報管理

このトピックは、情報の収集と管理、適切なツールと技術の選択、コンピュータリテラシーおよびインターネットスキルを扱います。

- ✓ 適切な技術と情報システムを使用して、情報を検索し、選択し、整理し、文書化します
- ✓ 様々な情報源から関連する情報を分析し、評価し、適用します

CHAPTER 16

VLO 5: Establish and maintain therapeutic relationships

16.1 治療的関係の基本原則を活用する

クライアントにケアを提供する際に、治療的関係の基本原則を使用して、真正な信頼関係を構築することを扱っています。

- ✓ 治療的関係の概念とその重要性を説明する
- ✓ 治療的関係の特性を特定し説明する
- ✓ 治療的関係がクライアント-PSW役割をどのように確立し、維持するかを説明する

16.2 専門的境界線の確立と維持

治療的関係における専門的境界線の確立と維持について取り扱っています。

- ✓ 治療的関係における専門的境界線の重要性を説明する
- ✓ 適切なクライアント-PSW および家族-PSW 境界線に関連する行動を説明する
- ✓ 個人的な活動およびニーズが判断力および業務遂行に支障をきたさないようにする
- ✓ 個人的な問題、生活様式および見解をクライアントに押し付けない

16.3 クライアント情報の機密性およびプライバシー保護の維持

法律および雇用者の方針に従い、クライアントの個人情報に関する機密性およびプライバシー保護の維持をカバーします。

- ✓ プライバシーおよび機密性に関するPIPEDA 2000およびPHIPA 2004を特定し遵守する
- ✓ 個人のアクセス権に関する法律を特定し遵守する
- ✓ クライアントのプライバシー権がPSWの役割にどのような影響を与えるかを理解する
- ✓ 機密性の侵害がないことを確認する

16.4 相互作用においての文化的に配慮したケアの提供

クライアント及びその家族との相互作用時に、文化的に配慮したケアを提供することを扱います。

- ✓ 文化的に配慮した言語的及び非言語的コミュニケーションを識別し実施する
- ✓ PSW自身の文化がコミュニケーションに及ぼす影響を識別し、偏見について思考する
- ✓ 前向きで思いやりのある態度、共感、敬意及び多様性への配慮を使用する

16.5 クライアントの独特なニーズに合わせてコミュニケーションスキルを適応させる

クライアント、家族およびサポートシステムの様々な独特なニーズを満たすためにコミュニケーションスキルを特定し、適応させることをカバーしています。

- ✓ コミュニケーションの一般的な障害を特定し、その影響を最小化する
- ✓ 自分自身の非言語的コミュニケーションがどのように解釈されるかを特定する
- ✓ 自分自身の態度、信念およびバイアスを検証する
- ✓ 積極的傾聴、明確化、および明確なフィードバック提供などの技法を使用する
- ✓ コミュニケーション方法、ペース、トーンおよび語彙を適応させる
- ✓ コミュニケーション障害および感覚欠損の影響を特定する
- ✓ 感覚能力の変化に対応するためにコミュニケーションを適応させる
- ✓ 効果的でないコミュニケーションがどのように権力の濫用につながるかを議論する
- ✓ 児童が関与する場合はコミュニケーションを適応させ、サポートを活用する

16.6 補助装置を使用したコミュニケーション支援

ケアプランに従い、補助装置を使用してクライアントの言語的および非言語的コミュニケーションをサポートすることを扱います。

- ✓ サイン板、ピクチャーボード、コミュニケーションカード、コンピュータ支援技術などの基本的なコミュニケーション援助機器を識別し使用します
- ✓ コミュニケーション促進のための適切なコミュニティリソースを識別します

16.7 明確な専門用語の使用

クライアントおよび医療専門職チームメンバーとのコミュニケーション時に明確な専門用語を使用することについてカバーします。

- ✓ 他のチームメンバーとのコミュニケーションで明確な専門用語を使用する
- ✓ クライアントおよび家族とのコミュニケーション時に基本的な医学用語を使用する

16.8 介護状況での葛藤管理スキルの活用

介護状況での葛藤を予防・解決するために、対人コミュニケーションと葛藤管理スキルを活用することを扱います。

- ✓ 介護状況における葛藤の一般的な原因を特定する
- ✓ 葛藤予防・解決のためのアプローチを特定・実行する
- ✓ 基本的な葛藤解決技法を実行し、適切なリソースを特定する

CHAPTER 17

Glossary

17.1 主要用語と定義

標準全体で使用される中核用語の定義を提供し、試験が基づいている概念を明確にします。

- ✓ 虐待; 日常生活活動(ADLs); アドバンス・ケア・プランニング(ACP); 医療行為の補助と医療行為補助の権利
- ✓ ケア環境; クライアント; クライアント中心ケア; 管理行為; 文化的に安全なケア; 認知症(可逆的/不可逆的、一次的/二次的)
- ✓ 人生の終末期ケア; 倫理的; 家族; ケアの目標に関する協議; 全人的ヘルスケア; 家事管理サービス; IADLs
- ✓ 多職種チーム; 生命制限疾患; 生命脅威疾患; 最も責任のある人; ネグレクト
- ✓ 緩和ケアへのアプローチ; 緩和ケア; 人中心ケア; 本人主導ケア; ケア計画; 専門職; 回復
- ✓ 規制対象保健専門職; 反応的行動; 回復促進型ケア; 標準予防策; 支持的ケア; 治療的関係; 無認可ケア提供者

CHAPTER 18

VLO 6: Identify, Report and Document Client Information

18.1 完全な観察と基本的なアセスメント

クライアントの状態に関する定期的な主観的および客観的観察、基本的なアセスメント、ならびに報告と記録の完了。

- ✓ クライアントの状態の変化およびサービス提供内容などの関連情報を確認し、適切なチームメンバーに報告する

18.2 バイタルサインの測定と記録

脈拍、血圧、呼吸数、酸素飽和度および体温を測定・記録し、基準値と比較して報告します。

- ✓ クライアントの基準バイタルサインからの変動を記録し、スーパーバイザー、登録スタッフまたは責任者に報告します
- ✓ 測定誤差の潜在的な原因を特定し、是正措置を実施します

18.3 身長と体重の測定と記録

ケアプランに従い、身長と体重を正確に測定して記録します。

- ✓ クライアントの通常体重の変化を記録し、スーパーバイザーまたは適切なヘルスケアチームメンバーに報告します

18.4 明確かつ簡潔に記録する

正しいつづり、文法、医療用語、および承認された略語を使用して、明確かつ簡潔に記録します。

- ✓ 医療専門家、クライアント、および家族と情報交換または記録する際に、適切な医療用語を特定して使用します

18.5 記録を完全かつ正確に記入する

チェックリスト、ケアフロー用紙、叙述的記録を含む記録を確立されたポリシーに従って記入する

- ✓ 記録作成の原則と法的義務を説明し、準拠する
- ✓ クライアントのケア情報を記録・報告する方法について論じる
- ✓ クライアントのケア計画をコミュニケーションツールとして活用する方法について論じる

18.6 通信技術を使用した変化の記録

通信ツールおよび技術を使用して、クライアントケアおよび状態の変化を記録および伝達します。

- ✓ 従業員方針および手順に従って記録します（電子および/または紙ベース）
- ✓ 効果的な通信技術を使用して、情報を収集、送信、記録します
- ✓ 適切なアセスメント楽器およびシステムについて議論し、活用します
- ✓ 文書化におけるプライバシーおよび機密性を保護するためのガイドラインについて議論します

CHAPTER 19

VLO 6: Identify relevant client information and document findings

19.1 クライアント状態の完全な観察と報告

定期的な主観的および客観的観察、基本的アセスメント、およびケアプランに関連するクライアントの状態の報告/記録を完了することを扱う。

- ✓ クライアントの状態変化およびサービス受けた内容などの関連情報を確認し、適切なチームメンバーに報告する

19.2 バイタルサインを正確に測定・記録する

脈拍、血圧、呼吸数、酸素飽和度、体温の測定・記録、基準値との比較、および観察結果の報告を含みます。

- ✓ 基準バイタルサインからの変動を適切な職員に記録・報告します
- ✓ 測定誤差の潜在的な原因を特定し、是正措置を実施します

19.3 身長と体重の測定及び記録

ケアプランに従い、身長と体重を正確に測定および記録することについて扱っています。

- ✓ クライアントの通常体重からの変化を、スーパーバイザーまたは適切なチームメンバーに記録および報告する

19.4 正しい用語を使用して明確に文書化する

正しいスペル、文法、医療用語、および承認された略語を使用して、明確かつ簡潔に文書化することをカバーしています。

- ✓ 文書化または通信する際に適切な医療用語を識別して使用する

19.5 記録を完全かつ正確に作成する

チェックリスト、ケア記録票および記述的記録などの記録を完全かつ正確に、また確立されたポリシーに従って作成することを扱う。

- ✓ 記録作成の原則および法的義務を説明し、これらを遵守する
- ✓ ケア情報の記録作成および報告方法について議論する
- ✓ ケアプランが意思疎通ツールとしてどのように活用できるかについて議論する

19.6 テクノロジーを使用した変化の記録と情報伝達

職場におけるコミュニケーションツールおよびテクノロジーを使用して、クライアントケアおよび状態の変化を記録し、情報伝達することをカバーします。

- ✓ 雇用者のポリシーに従って記録します(電子ベースおよび/または紙ベース)
- ✓ コミュニケーションテクノロジーを使用して情報を収集、送信、および記録します
- ✓ 評価ツールおよびシステムについて検討し、活用します
- ✓ 記録における個人情報保護とプライバシー機密保持のガイドラインについて検討します

CHAPTER 20

VLO 7: Create and Maintain a Safe and Comfortable Environment

20.1 保健、安全および緊急対策の遵守

保健、安全および緊急対策、適用される法令および雇用主の安全方針と手順に準拠します。

- ✓ 職業保健安全法（Occupational Health and Safety Act, R.S.O. 1990）を議論し、遵守する
- ✓ 職場危険物質情報システム（Workplace Hazardous Materials Information System, WHMIS）に準拠する
- ✓ 緊急対応計画および食品安全訓練を含む雇用主の安全方針を確認し、遵守する
- ✓ 最小限の身体的拘束の使用に関連する責任を認識する

20.2 安全リスクの特定と報告

環境における安全リスクを特定して報告し、それらを軽減または排除するための措置を講じる。

- ✓ リスク評価を通じて危険な状況を特定し、クライアント、PSW、および他の者への怪我を防ぐための措置を講じる

20.3 安全を促進する実践の実装

PSW、クライアント、および介護環境におけるその他の者の安全を促進する実践の実装

- ✓ 機器および安全対策を特定し、報告し、文書化する
- ✓ 潜在的な火災の危険性を特定し、火災が発生した場合に講じた措置を文書化する
- ✓ WHMIS基準に従い、危険物を安全に取り扱い、保管する
- ✓ 転倒のリスクを特定し、報告し、文書化し、予防手法を実装する
- ✓ 介護計画に基づき、個別化された感染管理計画を実装する

20.4 個人用保護具（PPE）の選択と使用

オンタリオ州公衆衛生局の情報および政策に従い、個人用保護具の選択、装着、脱去、および感染予防・制御措置を実施します。

- ✓ 抗生物質耐性菌に関連する感染伝播のハザードを特定します
- ✓ 交差汚染および微生物伝播を最小化するステップを特定します
- ✓ 一般的な公衆衛生問題の影響を最小化するステップを特定します
- ✓ 手指衛生、個人用保護具、環境的および行政的対策を含む標準予防策を特定し使用します

20.5 雇用主の緊急対応プロトコルの確認

雇用主の緊急対応プロトコルとプロセスを確認すること。

- ✓ 救急車、消防士、警察などの緊急対応者にいつどのように連絡するかを知ること

20.6 緊急処置と応急手当の手順の実施

雇用者方針に従って、適切な緊急処置と応急手当の手順を実施し、これを報告および記録します。

- ✓ 意識のある患者と意識のない患者に対して適切な緊急処置と応急手当を提供する
- ✓ 保護計画に蘇生禁止の指示が記録されていない場合、乳児、小児および成人に対してCPRの基準を適用する
- ✓ WSIB承認プロバイダーから応急手当とCPR認定資格を維持することの重要性を認識する

20.7 インシデント・事故報告書の作成完了

ポリシーおよび法令に従い、異常発生、ニアミス、または職場での怪我の後にインシデント/事故報告書を作成すること。

- ✓ 異常な発生または職場での怪我を直ちに報告することで、インシデント報告書の開始に参加する

CHAPTER 21

VLO 7: Create and maintain a safe environment

21.1 保健、安全および緊急措置への準拠

保健、安全および緊急措置、法令および雇用主の安全方針と手順への準拠をカバーします。

- ✓ 職業安全衛生法（Occupational Health and Safety Act, R.S.O. 1990）を議論し遵守する
- ✓ 職場危険物質情報システム（WHMIS）を遵守する
- ✓ 緊急対応準備および食品安全研修を含む雇用主の安全方針の位置を特定し遵守する
- ✓ 最小限の抑制の使用に関連する責任を特定する

21.2 環境内の安全リスクの識別と報告

環境内の安全リスクを識別して報告し、それらを軽減または排除するための対策を講じることを対象としています。

- ✓ リスク評価を通じて危険な状況を識別し、けがの予防のための措置を講じます

21.3 安全を促進する実践の実施

ケア環境におけるPSW、クライアント、および他の人々の安全を促進する実践の実施をカバーしています。

- ✓ 機器および安全対策を特定し、報告し、文書化する
- ✓ 潜在的な火災危険を特定し、実施した措置を文書化する
- ✓ WHMISに従って危険物を安全に取り扱い、保管する
- ✓ 転倒リスクを特定および文書化し、予防技法を実施する
- ✓ 個別化された感染管理計画を実施する

21.4 PPEの選択と感染対策の実施

公衆衛生オンタリオ指針を含む方針に従い、PPEの選択、装着、脱衣、および感染予防・管理対策の実施をカバーします。

- ✓ 抗生物質耐性菌の伝播の危険性を特定する
- ✓ 交差汚染および微生物伝播を最小化するための手順に従う
- ✓ 一般的な公衆衛生上の課題の影響を最小化するための手順を実施する
- ✓ 手衛生、PPE、および環境・管理的対策を含む標準予防策を使用する

21.5 雇用主の緊急プロトコルの確認

雇用主の緊急プロトコルとプロセスの確認について説明します。

- ✓ 救急車、消防士、警察官などの応急要員をいつ、どのように呼ぶかを知る

21.6 緊急対応と応急手当の手順の適用

意識のあるクライアントと意識のないクライアントに対して、適切な緊急対応と応急手当の手順を適用し、与えられた状況を報告および記録することをカバーしています。

- ✓ 意識のあるクライアントと意識のないクライアントに緊急対応と応急手当を提供
- ✓ 蘇生禁止の指示が記録されていない限り、乳児、小児、成人にCPR基準を適用
- ✓ WSIB承認プロバイダーから応急手当およびCPR認定を維持することの重要性を認識

21.7 インシデント/事故報告書の完成

方針および法律に従って、異常な発生、ヒヤリハット、または職場での負傷後のインシデント/事故報告書の完成を扱います。

- ✓ 異常な発生または職場での負傷の即座の報告を通じて、インシデント報告書の作成に参加します

CHAPTER 22

General Education Requirement

22.1 一般教育のテーマと目的

定義されたテーマを通じて、職業分野を超えた幅広い教育を提供する一般教育要件について説明します。

- ✓ 社会における芸術
- ✓ 市民生活
- ✓ 社会および文化的理解
- ✓ 個人的理解
- ✓ 科学および技術

CHAPTER 23

VLO 8: Assist Clients Across the Lifespan with Activities of Daily Living

23.1 クライアントの個人的ケア指示権の支援

クライアントが自分自身の個人的ケアの方向性を決定する際の選択権を特定し、支援します。

- ✓ 個人的ケアの提供において、クライアントの安全性、尊厳、自律性、尊重、プライバシー、および機密性の権利の支援を援助します

23.2 嗜好、自立性、ペース、およびスペースの尊重

日常生活動作（ADL）のルーチンケア中に、各クライアントの個人的および文化的嗜好、自立性のレベル、ペース、およびスペースを尊重します。

- ✓ 追加の時間が必要な場合は、スーパーバイザーに報告し、記録します
- ✓ クライアントが個人的および文化的嗜好を特定するよう支援し、奨励します
- ✓ ケア中にクライアントが快適さのレベルを共有するよう奨励します

23.3 身体システムと疾患に関する知識の応用

身体的および精神的健康状態、身体機能、加齢、および機能変化に関する知識を適用して、日常生活動作(ADL)の日常業務を支援します。

- ✓ 正常な成長および発達段階に関する知識を特定し、適用します
- ✓ 筋骨格系、消化系、泌尿器系、皮膚系、生殖系、心血管系、呼吸系、神経系、内分泌系および感覚系を含む全ての人体システムの基本構造と機能、ならびに加齢関連の変化および一般的な疾患に関する知識を特定し、適用します

23.4 疾病予防と回復的ケアの概念の活用

疾病予防、健康増進、回復期、リハビリテーション、および回復的ケアの概念を使用して、最大限の機能的自立を支援します。

- ✓ 疾病および危険予防と健康増進の基本的な概念を特定する
- ✓ 回復期、リハビリテーション、および回復的ケアの概念を定義および適用し、理学療法、作業療法、レクリエーション療法、および言語療法を含む方法を理解する
- ✓ レスパイトケアの概念について討論する
- ✓ クライアントの機能障害の要因を特定し、それらの解決方法を提示する
- ✓ 援助が必要なクライアントの行動に影響を与える要因を認識する
- ✓ クライアントの能力を最大化し、害のリスクを最小化するための支援を提供する

23.5 栄養サポートテクニックの使用

ケアプランと法律に従い、クライアントのニーズと状態に特有の栄養サポートテクニックを使用する

- ✓ 食事および栄養サポートテクニックに関連する適用可能な法律を確認する
- ✓ 安全な食事慣行を支援し、咀嚼または嚥下困難を認識する
- ✓ 食事を社会的活動として支援する
- ✓ 要求時に1日の摂取量および排出量を測定および記録する
- ✓ 経腸栄養供給方法、機器、安全措置および合併症を確認する
- ✓ 一般的な静脈注射部位、機器、安全措置および合併症を確認する

23.6 衛生及びグルーミング援助の提供

ケア計画、法律及びクライアントのニーズと選好に従った衛生及びグルーミング援助の提供

- ✓ グルーミング及び衛生に関連する適用可能な法律を特定する
- ✓ PSW の業務範囲内で、会陰部及び月経ケア、スキンケア、全身入浴または部分入浴、口腔ケア、爪のケア、毛髪ケア、シェービング、衣服の着用、衣服の脱衣、補聴器及び義歯のケアを完了する

23.7 排便・排尿失禁の援助

ケアプランおよび法規に従い、排便・排尿失禁を改善するための措置の援助を行う。

- ✓ 失禁対応と排尿独立性を支援するための戦略を使用する
- ✓ 便器を使用するクライアントを援助し、通常の手順に従って排出物を処理する
- ✓ 適切な技術を使用して外部カテーテルを装着する
- ✓ 清潔技法を使用して留置カテーテルの尿排液バッグを空にする
- ✓ 留置カテーテルの有無にかかわらず、クライアントの会陰部ケアを実施する
- ✓ ケアプランに従って、ストーマ袋を空にして交換する
- ✓ 清潔技法を使用して尿および検体を採取する
- ✓ 摂取量および排出量を測定して記録する

23.8 患者の位置、移動、動作および歩行補助

適切なボディメカニクス、補助器具および技術を使用して、患者を安全に位置付け、移動し、動かし、歩行を補助すること。

- ✓ 体重負荷（部分および完全）、非荷重、持ち上げおよび移動の区別
- ✓ 患者の歩行および能動的／受動的関節可動域運動の補助
- ✓ ベッドおよび椅子での適切な位置付けおよび位置変更の促進
- ✓ 適切な移動技術および機器を使用して患者の動きを補助
- ✓ 適切な技術を使用して患者および労働者の安全を確保
- ✓ 移動能力に影響を与える状態の変化の確認および報告

CHAPTER 24

VLO 8: Assist clients across the lifespan with activities of daily living

24.1 クライアントの個人ケア選択権の支援

自身の個人ケアの方向性を決める際のクライアントの選択権を認識し、支援することを扱います。

- ✓ 個人ケアにおいて、クライアントの安全、尊厳、自律性、尊重、プライバシー及び機密性に関する権利を支援するのを補助します。

24.2 日常生活における好み、ペース、スペースの尊重

各クライアントの個人的および文化的嗜好、自立性のレベル、日常生活活動ルーチン中のペースおよびスペースを尊重することについて扱っています。

- ✓ クライアントのニーズに追加時間が必要な場合は報告および記録する
- ✓ クライアントが好みを特定するよう提唱し、奨励する
- ✓ クライアントが快適性レベルを共有するよう奨励して、アプローチを調整できるようにする

24.3 身体機能の知識を応用したADL支援

身体的および精神的健康状態、身体機能、正常な加齢および機能の変化に関する知識を応用して、日常生活活動の日常的な支援を提供することをカバーしています。

- ✓ 多様な年齢のクライアント向けの正常な成長と発達の知識を応用する
- ✓ 筋骨格系、消化器系、泌尿器系、皮膚系、生殖系、心血管系、呼吸器系、神経系、内分泌系および感覚系を含むすべての人体系統の基本的な構造と機能、ならびにそれらの加齢関連の変化に関する知識を応用する

24.4 疾病予防および回復ケアの概念の適用

疾病予防、健康増進、回復期、リハビリテーション、および回復ケアの概念を使用して、最大限の機能的独立性を支援することをカバーしています。

- ✓ 疾病予防、健康増進、および維持の基本的な概念について議論する
- ✓ 身体療法、作業療法、レクリエーション療法、および言語療法を含む回復期、リハビリテーション、および回復ケアの概念を適用する
- ✓ レスパイトケアの概念について議論する
- ✓ クライアントの機能を妨げる障壁を特定する
- ✓ 日常生活動作援助が必要なクライアントの行動に影響を与える要因を認識する
- ✓ クライアントが能力を最大化し、危害のリスクを最小化するのを支援する

24.5 クライアントの特定のニーズに合わせた栄養サポート技法の使用

クライアントの特定のニーズと状態に応じて、ケアプランおよび適用可能な法律に従った栄養サポート技法の使用をカバーします。

- ✓ 食事および栄養サポート技法に関する法律を特定する
- ✓ 咀嚼または嚥下困難を認識しながら安全な食事習慣をサポートする
- ✓ 食事を社会的活動としてサポートする
- ✓ 要求された場合、日々の摂取量と排出量を測定および記録する
- ✓ 経腸栄養供給方法、機器、安全対策および合併症を特定する
- ✓ 一般的な静脈注射部位、機器、安全対策および合併症を特定し報告する

24.6 衛生および身だしなみ支援の提供

ケアプラン、適用法令、およびクライアントのニーズと好みに基づいて、衛生および身だしなみ支援を提供することを対象としています。

- ✓ 身だしなみと衛生に関連する法令を特定する
- ✓ PSWの範囲内で、会陰および月経ケア、スキンケア、入浴、口腔ケア、爪ケア、ヘアケア、シェービング、更衣、補聴器および入れ歯のケアを実施する

24.7 排便および排尿調節措置の支援

ケアプラン、雇用主規定および法律に従って、排便および排尿調節を増進するための措置を支援することを扱います。

- ✓ 成人用おむつの交換など、調節を支援し自立を促進する戦略を使用します
- ✓ クライアントが便器を使用するのを支援し、内容物を処理します
- ✓ 適切な技術を使用して外部カテーテルを挿入します
- ✓ 清潔な技術を使用して永続カテーテルの尿ドレナージバッグを空にします
- ✓ 留置カテーテルの有無にかかわらずクライアントに会陰部ケアを実施します
- ✓ ケアプランに従ってストーマ袋を空にして交換します
- ✓ 清潔な技術を使用して尿および検体を採取します
- ✓ 摂取量と排出量を測定および記録します

24.8 身体力学を使用してクライアントの位置付け、移動、移乗を行う

クライアントを安全に位置付け、移動、移乗、および歩行させるための適切な身体力学、補助装置、および技術の使用をカバーしています。

- ✓ 荷重、非荷重、持ち上げおよび移乗の違いを区別する
- ✓ 歩行援助および関節可動域運動を支援する
- ✓ ベッドおよび椅子での適切な体位と体位変換を促進する
- ✓ 適切な移乗技術および機器を使用してクライアントが動くのを支援する
- ✓ 移乗中のクライアントおよび労働者の安全を確保する
- ✓ 再評価が必要な移乗能力の変化を特定および報告する

CHAPTER 25

VLO 9: Assist the Client with Medication

25.1 法令遵守に基づく薬剤投与の支援

適用される法律、機関方針およびPSW職務に準拠した状態で、クライアントへの薬剤投与を支援します。

- ✓ 薬物療法の転帰監視における規制医療専門職（regulated health professional）の継続的な役割を説明する
- ✓ 1991年規制医療専門職法（Regulated Health Professions Act 1991）、2007年長期ケアホーム法（Long-Term Care Homes Act 2007）および2010年リタイアメントホーム法（Retirement Homes Act 2010）の制限、ならびにオンタリオ州看護師カレッジ（College of Nurses of Ontario）の未規制ケアプロバイダーとの連携ガイドラインに従って薬剤を投与する
- ✓ 薬物の基本的な分類および予想される転帰を説明する
- ✓ 雇用主方針をガイダンスの情報源として特定する
- ✓ ISMPの誤りやすい略語、記号および用量表記リストを識別し、使用する

25.2 様々な薬物投与経路への支援

ケアプランおよび法規制に従いながら、経口、直腸、耳、眼、鼻、局所、吸入及び皮下薬物投与を支援する

- ✓ 医薬品ラベル情報を読み、理解し、従う
- ✓ ケアプランの安全な医薬品管理慣行を遵守して医薬品投与を支援する
- ✓ 基本的な数学計算と単位変換を含む正しい技術を適用する
- ✓ 適切なチームメンバーの指示に従って医薬品を安全に保管する

25.3 服薬反応の報告と記録

政策および法律に従い、服薬支援の提供中にクライアントの反応に関する観察を報告および記録します。

- ✓ 服薬支援の結果としてのクライアントの行動および/または状態の変化を特定し、登録スタッフまたは最も責任のある者に報告します
- ✓ 服薬記録（MAR）および進捗記録など、服薬支援を文書化します

25.4 薬物援助を明確にするためのリソースを求める

薬物援助について話し合うまたは明確にするために、スーパーバイザーおよび登録スタッフを含むリソースを特定および検討すること。

- ✓ 安全な薬物投与に関連する他の医療専門家の役割を説明する
- ✓ 薬物がクライアントのウェルビーイングに影響を与える可能性があることを認識し、ステータスの変化を報告する義務を認める

CHAPTER 26

VLO 9: Assist the client with medication

26.1 法令遵守に基づく服薬管理の補助

適用可能な法令、機関方針、およびPSW役割に従って、クライアントの服薬管理を補助することについて取り扱います。

- ✓ 薬物療法監視における規制医療専門職の継続的な役割を説明する
- ✓ 1991年規制医療専門職法(Regulated Health Professions Act 1991)の管理行為および2007年長期ケア施設法(Long-Term Care Homes Act 2007)と2010年リタイアメント・ホーム法(Retirement Homes Act 2010)の制限を含む法令に従って服薬を補助する
- ✓ 医薬品の基本的な分類および予想される治療成績を説明する
- ✓ 服薬管理補助のための指針として雇用主方針を確認する
- ✓ ISMP誤り易い略語・記号・用量表記リストを使用する

26.2 様々な投薬経路のケア計画に従う

経口、直腸、耳、眼、鼻、局所、吸入、皮下投薬の投与を支援する際に、ケア計画の指示に従い、カナダの法律に準拠します。

- ✓ 医療用医薬品のラベル情報を読み、理解し、従います
- ✓ 安全な医療用医薬品の実践に従って医療用医薬品の投与を支援します
- ✓ 基本的な数学計算と単位変換を含む正しい技術を適用します
- ✓ 多職種チームの指示に従って医療用医薬品を安全に保管します

26.3 クライアントの反応の観察の報告と記録

政策および法律に従って、投薬を支援する際にクライアントの反応に関する観察の報告と記録について説明します。

- ✓ クライアントの行動または状態の変化を特定し、登録スタッフまたは最も責任のある者に報告します
- ✓ 投薬支援を医薬品管理記録（MAR）または進捗記録などに文書化します

26.4 薬物支援を明確にするためのリソースを探す

監督者および登録職員と薬物支援について議論または明確にするためのリソースの特定と探索をカバーしています。

- ✓ 安全な薬物投与に関連する他の医療専門家の役割を説明する
- ✓ 薬物がクライアントの福祉に与える影響を認識し、状態の変化を報告する義務がある

CHAPTER 27

VLO 10: Assist with Household Management and Instrumental ADLs

27.1 家庭管理サービスの提供

クライアントの健康、自立性、安全性および快適性を促進する家庭管理サービスの提供

- ✓ クライアントが健康、自立性、安全性および快適性を維持するのに役立つ家庭管理サービスを特定する
- ✓ 故障のある機器およびサービスに対するクライアントの反応を報告および記録する

27.2 家庭サービスにおけるクライアントの希望の尊重

クライアントの希望を尊重し、クライアントの希望とケア計画に基づいて、家庭活動へのクライアント参加をサポートします。

- ✓ クライアントの短期および長期目標と参加レベルを特定します
- ✓ クライアント指向の目標を実施する際に、組織的および時間管理スキルを使用します
- ✓ クライアントと家族が継続的なニーズを満たすためにサービスを計画するのを支援します

27.3 ケアプラン更新のための必要事項の報告

クライアントのニーズと希望を多職種協働チームに伝え、ケアプランの策定および/または更新に貢献します。

- ✓ 雇用主の方針に従い、ケアプランを策定および/または更新するために適切なチームメンバーに情報を提供します

27.4 家庭用機器を安全に取り扱う

ケアプランで指示されたとおり、標準的な家庭用機器を安全に取り扱いながら家庭管理サービスを実施する。

- ✓ 様々なケア環境で標準的な家庭用機器を安全に操作・管理する
- ✓ 機器、家電製品および製品の使用と廃棄に関する製造業者のガイドラインに従う
- ✓ 機器および製品の使用に関連する雇用主の方針に従う

27.5 家事サービスにおける正しい身体メカニクスの使用

家事管理サービスの提供における正しい身体メカニクスの使用

- ✓ 正しい身体メカニクスの原則を特定し、適用する

27.6 家庭サービスにおける感染管理の遵守

家庭管理サービスの提供における標準予防措置および感染予防・管理措置の遵守。

- ✓ 食品、機器および作業区域の安全な取扱いにおいて病原体を最小化するために標準予防措置を選択して使用します

27.7 食料品買い物リスト作成の支援

カナダ食品ガイドとケアプランに基づき、文化的および食事上の好みを尊重する食料品買い物リストの作成を、クライアントと家族が準備するのを支援します。

- ✓ カナダ食品ガイド、クライアントの予算、文化、食事上の好み、および特別な要件を考慮して食事計画について相談します

27.8 クライアントのショッピングをサポートする

クライアントおよび/または家族のショッピングを支援し、彼らの希望を尊重します。

- ✓ 過度なコントロールを行わずにクライアントのショッピングをサポートし、時間と場所の希望を尊重します
- ✓ クライアントの希望に従ってショッピングを行います
- ✓ 雇用主のガイドラインに従い、安全かつ倫理的にお金を扱い、記録を保持します

27.9 ケアプランに従った食事の準備

ケアプランに従い、指示、文化的慣行、患者の好み、アレルギー、および施設を考慮して食事を準備します。

- ✓ 健康的な食生活の重要性について説明する
- ✓ カナダ食料ガイドに基づいた栄養価の高いバランスの取れたメニューを準備する
- ✓ 単位価格、等級、成分、賞味期限ラベルを解釈する
- ✓ 食品取扱規定に従って食品を安全に保管し取り扱う
- ✓ レシピに従い、一般的な材料の代替を行う
- ✓ 見た目、温度、量を考慮して食事を魅力的に提供する
- ✓ 特別な食事療法の必要性に応じて食事準備を適応させる
- ✓ 食事準備機器を安全に操作する
- ✓ 食品が入手できない、または予算が不足している場合は管理者に報告する

CHAPTER 28

VLO 10: Assist with household management and instrumental ADLs

28.1 健康を促進する家事管理サービスの提供

クライアントの健康、自立、安全性、快適性を促進する家事管理サービスの提供をカバーします。

- ✓ クライアントを支援する家事管理サービスを特定する
- ✓ 欠陥のある機器およびサービスに対するクライアントの反応を報告および記録する

28.2 家事サービスにおけるクライアントの希望の尊重

ケアプランに従い、クライアントの希望を尊重し、家事活動への参加を支援することについて説明します。

- ✓ クライアントの家事管理に関する短期および長期の目標を特定する
- ✓ クライアント中心の目標のための組織管理およびタイムマネジメントスキルを活用する
- ✓ 継続的なニーズを満たすために、クライアントと家族が家事サービスを計画するよう支援する

28.3 ケアプランに貢献するためのコミュニケーション：クライアントのニーズ

クライアントのニーズと選好を保健医療専門職チームに伝達し、ケアプランに貢献することをカバーしています。

- ✓ ケアプランを開発または更新するために、チームメンバーに情報を提供する

28.4 標準的な家庭用機器を安全に取り扱う

ケアプランで指示された標準的な家庭用機器を安全に取り扱いながら、家事管理サービスを提供することについて説明します。

- ✓ 標準的な家庭用機器を安全に操作し、維持管理する
- ✓ 製造業者のガイドラインに従い、機器の故障を適切な担当者に報告する
- ✓ 機器、製品の使用及び処理に関する雇用主の方針に従う

28.5 家事サービスにおける正しい身体メカニクスの使用

家事管理サービスの提供における正しい身体メカニクスの使用をカバーしています。

- ✓ 正しい身体メカニクスの原則を特定し、適用します

28.6 家庭サービスにおける感染管理の実施

家庭管理サービスにおいて、標準予防措置および感染予防・管理措置を遵守することについて扱います。

- ✓ 食品、機器および作業区域の安全な取り扱いにおいて病原体を最小化するために、標準予防措置を選択して使用します

28.7 食料品買い物リスト作成の支援

カナダ食品ガイドに基づき、文化的および食事の好みを尊重しながら、クライアント、家族および関係者が食料品買い物リストを作成するのを支援することが含まれます。

- ✓ カナダ食品ガイド、予算、文化、食事の好み、および特別な要件を考慮して食事計画について議論します

28.8 クライアントおよび家族の買い物支援

クライアントと家族の好みを尊重しながら買い物を支援し、金銭を適切に取り扱う方法をカバーします。

- ✓ クライアントの買い物を支援する際、過度な支配を避けます
- ✓ クライアントの希望に応じて買い物を行います
- ✓ 雇用主のガイドラインに従って、安全かつ倫理的に金銭を処理し、記録を保持します

28.9 ケアプランに従った食事の準備

クライアントの指示、文化的慣行、嗜好、アレルギー、および利用可能な施設を考慮して食事を準備することを扱います。

- ✓ 健康的な食生活の重要性について議論する
- ✓ カナダの食品ガイドに基づいた栄養価のあるバランスの取れたメニューを準備する
- ✓ 単位価格、等級、成分、および日付ラベルを解釈する
- ✓ 規制に従って食品を安全に保管および取り扱う
- ✓ レシピに従い、一般的な代替を行う
- ✓ プレゼンテーション、温度、および部分に関して食品を魅力的に提供する
- ✓ 特別な食事のニーズに合わせて準備を調整する
- ✓ 食事準備機器を安全に操作する
- ✓ 食品が入手不可能または予算が不足している場合は、スーパーバイザーに報告する

CHAPTER 29

VLO 11: Assist and Support Clients Who Are Caregivers

29.1 個人の家族定義の尊重

個人の家族構造およびアイデンティティに関する定義を認識し、尊重します。

- ✓ 現代の家族における様々な家族構造と力学を認識し、説明する
- ✓ 家族内の様々な文化的規範とパターンを認識し、議論する
- ✓ 家族内の伝統的および非伝統的な治癒慣行を認識し、議論する

29.2 家族の役割、権利および責任の尊重

個人、家族およびその重要な他者の役割、権利および責任を特定し尊重する。

- ✓ 家族と友人の役割(複数)とクライアントに対するそれらの重要性を特定する
- ✓ 友人と家族の役割についての個人的な偏見を省察する
- ✓ 支援の受け入れに影響を与える要因を省察し、PSWの役割内で対応する
- ✓ PSWの役割内で専門的な境界線を維持するために省察し、職務を遂行する

29.3 PSWの家族への影響を認識する

PSWの存在が家族に及ぼす可能性のある影響を認識し、負の影響を防止または最小化するための措置を講じ、チームに報告する

CHAPTER 30

VLO 11: Assist and support clients who are caregivers

30.1 個人の家族構成の定義を尊重する

個人の家族構成とアイデンティティの定義を特定し尊重することを扱います。

- ✓ 多様な家族構成とダイナミクスを特定し説明する
- ✓ 現代の家族内における多様な文化的規範とパターンについて議論する
- ✓ 家族内における伝統的および非伝統的なヒーリング実践について議論する

30.2 家族の役割、権利および責任の尊重

個人、家族およびその重要な人物の役割、権利および責任を認識し尊重することを扱います。

- ✓ 家族および友人の役割とクライアントへの重要性を認識する
- ✓ 家族および友人の役割に関する個人的バイアスを振り返る
- ✓ サポート受け入れに影響する要因を振り返り、PSW役割内で対応する
- ✓ クライアントおよび家族との専門的境界を振り返り、維持する

30.3 PSWの存在が家族に及ぼす影響を特定する

PSWの存在が家族に及ぼす可能性のある影響を特定し、悪影響を最小化するための措置を講じ、チームに報告することが含まれます。